



# ゆっころ通信

社会福祉法人ゆっころ 〒301-0834 茨城県龍ヶ崎市古城3204  
http:// yukkora.jp / 電話:0297-85-4301

## 今年も戦後70年「戦争と精神障害者」を考える

理事長 杉江 彰

戦争の犠牲者になるのは、いつも庶民です。兵士（最前線の兵士は皆庶民です）はもちろん戦地になった場所に住む住民（中国、はじめアジアの人々も数百万人が犠牲になり、沖縄は戦場になり兵士と住民20万人が犠牲になりました）、空襲犠牲者、原爆犠牲者もそうです。生き残った人も自身の後遺症や親や兄弟が死んで、多くの人のその後の苦労は筆舌に尽くしがたいものでした。

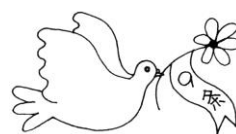
戦地で精神障害になった兵士は、千葉県の国府台陸軍病院に1万人も送還されてきました。（現在は国府台病院になっている）これらの元兵士は戦後も長い間苦しんでいます。

ドイツでは、ナチスがユダヤ人を毒ガス等で数百万人も殺しました。ユダヤ人に先がけて1940年から1941年にかけてドイツ国内の精神病院に入院していた精神障害者が6か所の精神病院に黄色のバスで集められ、毒ガス室に送り込まれました。7万人

もの精神障害者が「安楽死」させられました。

人を殺せば殺人罪です。でも戦争で人を殺しても罪は問われません。しかしアフガニスタン、イラクでの戦争に行ったアメリカ兵のべ200万人の内、2割以上50万人もの兵士が帰国後に精神的異常（抑うつ症状やPTSD）で苦しんでいます。人の死体やけが人を目にする、すぐ近くで砲弾や爆弾が炸裂する恐怖の体験は、耐え難い苦痛を兵士に与えます。いまだに帰還兵士の自殺が続いています。すでに戦死者以上の数に達しています。

戦争で平和は実現しません。日本は憲法9条のある国です。いくら国際情勢が厳しくなっても戦争だけはしてはなりません。



## つくばみらい市地域活動支援センターふれんずの活動紹介

ふれんず 施設長 猪瀬 厚

ふれんずがマリーナに引っ越してから1年になります。以前に引き続き活動はきらくやま（つくばみらい市すこやか福祉館）の一室を借りて活動を行っています。

活動内容は午前と午後に分かれてフリーの活動（手芸やゲーム等、自主的な活動）とSSTやレクリエーションとしての行事を行っています。レクリエーションは講師の先生が来てくださる、スポーツレク、習字、アートレク、健康についての話、読み聞かせや、自分たちで企画する自主活動があります。自主活動ではミーティングで行き先を話し合い出かけます。最近ではエキスポセンターのプラネタリウムに行きました。その他に特別な企画として『ポーセルアーツ（陶器の絵付け）』や『メイクアップ

アップ教室』等、スタッフやメンバーが講師になって行う活動もあります。

きらくやまでの居場所としては、珈琲を味わいながらみんなでおしゃべりが出来るゆったりと過ごせる気持ちの良い空間になっています。11月にはともだち村と合同の日帰り旅行（成田空港と航空博物館）に行く予定です。



ポーセルアーツ  
素敵な絵柄がいっぱい！



メイクアップ教室  
よりいっそう綺麗に！

## つくば市地域活動支援センターわかば

わかば 施設長 松川 武史

地域活動支援センターはゆっこらが大切にしている日中の居場所に当たる施設で、つくば市台町の谷田部老人センター内にあります。

月曜日は食事会、食事会が無い日はフリー、火曜日は市役所の同行支援、DVD鑑賞、水曜日はスポーツ、木曜日は買い物支援、金曜日はレクリエーションという形で行事を行います。わかばのメンバーで菜園を作り楽しんだりもしています。行事には参加せず居場所として使う事も可能です。

また地域生活での悩み事の相談も行っています。遠慮しないで気軽に声をかけてください。

わかばのメンバーの特徴はとにかく**活動的**。この言葉に尽きると思います。

他の施設の職員から、わかばのメンバーさんは本当に元気が良いねと声をかけられた事もあります。

皆で過ごす場所なのでお互いが気持良く過ごせる空間であって欲しいと思います。



毎年行われている流しソーメン大会の様子。皆さん涼みながら楽しくいただいています。



わかば菜園では小松菜が立派に育っています。

## 周囲の環境とゆうあいワークイン

ゆうあいワークイン 施設長 吉田 満輝

共同作業所から地域活動支援センターに変わってから約8年が経ちます。その間には、当センターを取り巻く環境が大きく変わりました。

以前は龍ヶ崎市内に精神障がいを持つ方が利用できる福祉施設は少なく、一日の利用定員20名に対して40名弱の利用者が来所される日も少なくありませんでした。

当時の提供サービスとしては、退院援助から就労支援、相談支援や日中活動のプログラムの提供などを行いつつ、日々起こる出来事に対してがむしゃらに向き合ってきました。今考えると支援範囲を広げすぎていたのかもしれないと思うほどです。

しかしながら、ここ数年は就労支援系や相談支援系の施設が次々と立ち上がり、ゆうあ

いワークインから他の施設に移行したり併用する利用者が増えてきました。

利用者の中には、以前は当センターに通うことも難しかった方が当センターの利用を経て、今ではアルバイトや就労支援などで毎日元気に仕事をこなしている方も少なくありません。

就労や相談に特化したサービス提供を行う施設が増えることで、利用者にとってサービスの選択肢が広がり、新たな目標を見つけられる環境が整うことは、とても喜ばしいことだと感じています。

また、そのような他施設が充実することによって地域活動支援センターの役割と必要性も改めて感じるようになりました。地域活動支援センターの敷居の低さ（利用のし易さ）や他施設との併用に制限のない環境は、多様化した福祉サービスを利用する際の拠点として、とても重要な要素の一つだと思います。

これからもゆうあいワークインが『楽しみ』や『安心』を得られる環境であると共に、他施設へのチャレンジがうまくいかなかったり、少し疲れたときなどに、家以外で過ごせる居場所としての役割を担うなど、様々なニーズに対応できる場所を提供していけたらと考えています。

のどかな田園に囲まれたゆったりできる環境にあるゆうあいワークインを隣左側には就労継続支援B型花化農場があります。



## みんなの夢が叶った幸せな一日

花農場 施設長 加瀬 由子

シルバーウィークど真ん中の9月21日、なんと新しく龍ヶ崎市にオープンする回転寿司店スシローさんのオープニングレセプション（試食会）にご招待していただきました。

回転寿司店スシローを全国展開する株式会社あきんどスシローさんでは、新規オープンする時は、毎回、店員さんの研修を兼ねて、その地域の障がい者と職員を招待してくださるのだそうです。また、障害者雇用にも力を入れていて、全国で実習生を含めて、180人もの障害者雇用を実現させているそうです。

さて、皆さんは一度はお金を気にせずお腹いっぱい大好きなネタを贅沢に食べてみたいと思ったことはありませんか？そんなまるで宝くじに当たったようなラッキーな体験を本当に味わうことが出来ました。

当日は、花農場の利用者さんと職員、ボランティアさん、NPO法人愛イン竜ヶ崎の皆さん、総勢約50名が昼食をご馳走になりました。

美味しいものを食べるとみんな笑顔になります。しかも、お皿の数を気にしなくて良いんですもの！大好きなホタテやイクラでお腹が苦しくなっても、甘いデザートは別腹です。

みんな本当に満腹になって、幸せいっぱいの日と時でした。

どの地域にも、必ずさまざまな障がいを持った人たちがいます。目に触れなくても、気が付かなくても、たくさん暮らしています。今回、新しい店舗のスタートに際して、スシローさんが真っ先に地域の障がい者に目を向けてくださったことを知って、本当に感激しました。

花農場には、就労を目指す利用者さんもいます。障がい者に理解のある企業の存在を知ったことは、就労を望む皆さんにも、大きな励みにもなったことでしょう。

将来、当たり前前に地域の障がい者に目を向ける企業がどんどん増えれば、きつともっと住み良い世の中になっていくのだらうと思います。

スシローの皆様、本当に素敵な時間をありがとうございました。



笑顔がいっぱい

## 今年のブルーベリー

ともだち村 指導員 國府田 大騎

今年も畑の暑い夏が終わりました。畑では炎天下の中ブルーベリーの収穫を行いました。

収穫するまでメンバーと一緒に草取りや肥料まきを行い、愛情を沢山注ぎ育ててきました。

ゆっこのブルーベリーは収穫まで農薬を使わずに育てています。なので、ブルーベリーの収穫を行いながら、食べることもできます。一生懸命育てたブルーベリーはとても甘くできました。メンバーも自分たちが一生懸命育て、収穫するのでやりがいがあり、達成感があると言っていました。

今年はさらに、畑仕事のメンバーだけでなく、ふれんずを利用している方も一緒にブルーベリーの収穫を行いました。また来年もやりたいとの声も上がるほど好評でした。



来年も美味しいブルーベリーが収穫できるようメンバーと一緒に頑張りたいと思います

収穫したばかりのブルーベリーです！

## 吉泉苑感謝祭

～ハッピーフェスティバル～に参加して

フレッシュグリーン 施設長 松橋 和枝

9月18日(金) 吉泉苑感謝祭～ハッピーフェスティバル～に参加してきました。この日、お天気はあまり良くなかったのですが、障がい者施設の方などたくさんのお客さんが来てくださいました。フレッシュグリーンはメンバーのMさんと職員のMMコンビがクッキー、カトルカール、ジャムなどを販売しました。Mさんのじょうずな接客のかがあり、クッキー、カトルカールは午前中に売りきれてしまいました。

吉泉苑は坂東市にある医療法人清風会の生活訓練施設です。同じ建物で就労継続支援B型と就労移行支援も行っています。ここを利用されている方々が春からこの感謝祭に向けて準備をしてきたそうです。訓練のプログラムの中で作ったエコバッグ、ビーズ細工、ミサンガなどを販売していました。それに白玉団子（小豆あん、アイスクリーム、きなこ入り）も、おいしかったです。

吉泉苑の利用者、職員の中に「関東・東北豪雨」の被災者が数人いることを金子施設長から伺いました。みんなで春から準備してきたので開催する決断をしたそうです。

感謝祭が盛大かつ有意義に終わることができてよかったですと思います。



お菓子の販売風景

### 病から社会復帰の間で

ここマリーナに来て早いもので、1年近く経ちます。重度の障害者として2回ほど死にかけて5年ほど入院生活を送りました。出てくる時にはなんでもできるさあ~と書いていたのですが、世の中厳しく社会復帰としての実力はまだ少し力が足りないようです。でもこれと言って病的な物がほとんどなく一年間無事生活できたのは良いことだと思います。この病の持ちようは個人差もありませんが、非常に治りにくいという点にあるのではないのでしょうか。

この病のことを考えるとき、まず病人、そしてドクター（医者）そして第三者目に見えざる者の存在、つまり敵の存在です。（悪魔とも呼ばれる）彼らの存在は、やや暗黙のもとに無口のもとに了解されています。僕としては、この敵の存在について話しをできたらな~と思います。それらは不

S.K （ボランペの家マリーナ）

思議と語られないような気がします。これでは説明が少ないと言われてつけ足すのなら音楽や小説もしくは聖書などに多く書かれています。

サタンとは、そもそも敵を意味するからです。僕は、ちなみにクリスチャンです。あえて例を出すなら宇多田ひかるの「Fight The Blues」に出てくるのと同じ感じ

です。  
注)宇多田ヒカル  
We fight the blues  
くよくよしてちゃ  
敵がよろこぶ  
男も女もタフじゃなくちゃね



S.K さん

### 古城に入って

O.S （古城の家）

朝起きてから、ひげをそり、ご飯を食べながら一日の生活が始まります。

古城での生活は、掃除当番や係が決まっています。

係の仕事は、燃やすごみから始まり、資源ごみを外に捨てに行くことなどがあります。燃やすごみは月・水・金曜に捨てます。資源ごみは、第一・第三木曜に捨てます。その他にも風呂掃除や御湯はりの



O.S さん

の仕事もあります。あとティータイムのおやつもおいしいです。あと外食も楽しいです。花農場で育てている花を見るのも好きです。

### 私の展示場

U.M （ゆうあいワークイン）

私がゆうあいワークインに来て7~8年経ちます。初めの頃の似顔絵は自分自身、マンガっぽく、それほどうまいとは思いませんでした。でも、毎日描いているうちにまずまず自分では上達していったと思います。暇をみては描いていました。でも、なかなか影のつけ方や色のつけ方はうまくありませんでした。しかし、いろいろ絵の勉強をしていくうちに『あっこれか！』という思いで影と色のつけかたが分かってきました。で、今は似顔絵だけではなく、昔描いていたマンガも描くようになりました。そして今では、似顔絵とマンガを両立しながら描いています。

自分では絵も好きですが、つくること造形もやりたいなアと思っています。

私は子供の頃から特撮ヒーロー『仮面ライダー』が好きです。だから藤岡弘氏の似顔絵がたくさんあります。今の仮面ライダーは昭和と平成に分かれています。その昭和ライダーでは藤岡弘氏、平成ライダーでは、今ドラマで活躍中の佐藤健くんが好きです。

いろいろ長くなりましたが、そこで今、ゆうあいワークインでは私の似顔絵マンガの展示場を作ってもらいました。ワークインのスタッフ達と協力して私の絵を飾ってもらいました。

もしよかったら私の絵を見にゆうあいワークインまで足を運んでくれませんか？

### ゆっくら事業所一覧



事業所名	☎	所在地
本 部	0297-85-4301	〒301-0834 龍ヶ崎市古城3204 古城の家2階
ゆうあいワークイン	0297-64-1335	〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町2422-10
花農場	0297-64-1393	〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町2422-11
古城の家	0297-85-4304	〒301-0834 龍ヶ崎市古城3204
ともだち村	0297-58-5201	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-1
ふれんず(本部)	(板橋マリーナへ)	〒300-2312 つくばみらい市神生530 きらくやま
ふれんず(板橋マリーナ)	0297-58-0466	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
ボランペの家	0297-57-0756	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
相談支援事業所マリーナ	0297-58-3670	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
わかば	029-836-8544	〒305-0861 つくば市台町 1-2-2 谷田部老人福祉センター
フレッシュグリーン	029-875-3680	〒305-0861 つくば市谷田部4701-2